

山形県看護連盟だより



第 40 号

平成29年10月15日発行

発行所／山形県看護連盟
〒990-0023 山形市松波4丁目1-39
明泉ビル2F
TEL 023-633-8153
FAX 023-633-8157
発行責任者／伊藤 加代子
印刷所／コロニー印刷(山形福祉工場)



平成29年度の

活動がスタート

「会長挨拶」

山形県看護連盟 会長 伊藤 加代子



今年の夏は天候不順で自然災害があちこちで発生し、甚大な被害を被られ、大変な思いをされた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

会員の皆様には、日頃より連盟活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

当連盟も平成29年度新役員体制の下、早くも4カ月が経過しました。7月には北海道・東北ブロックポリナビワークショップin山形が開催されました。

山形バリアフリー観光ツアーセンター代表理事 Gratitude 代表の加藤健一氏を講師にお招きし「ひとりのハートが世界を変えられる」と題して講演をいただきました。

140名の参加者全員が、加藤さんの世界に引き込まれた瞬間を感じました。同じ時間を共有し、それぞれの思いを胸に帰路に着かれたことと思います。改めて1道5県の会長様、そして青年部の皆様に深く感謝申し上げます。

また、8月には新体制のご挨拶を兼ね、庄内地区、最上・東西村山地区、置賜地区、山形地区など37施設を訪問させていただきました。

看護管理者の皆さんにお会いし、診療・介護報酬や看護師確保、勤務環境や賃金について、看護師教育や看護実習受け入れなど、また、社会・地域の変化から高齢社会の対応まで幅広く、たくさんの現状や課題を「現場の声」としてお聴きすることが出来ました。

お忙しい中、対応して頂きました事に心から感謝申し上げます。しかし、今回すべての施設を訪問できたわけではありませんので今後ともどうぞよろしくお願い致します。

さて、平成29年度日本看護連盟通常総会において、石田まさひろ参議院議員が次期参議院議員選挙の組織内候補予定者に選任され「石田まさひろを応援する会」も発足しました。石田議員は看護職の皆さんが「今日もいい看護ができて良かった!」と実感できる政策の実現に向け、日々頑張っておられます。また、寸暇を惜しんで私たちの施設を訪問し耳を傾けて下さいます。

山形県看護連盟もしっかり応援をしていきます。どうぞ皆様も一緒になって応援していきましょう。

会員皆様のご健勝と尚、一層のご活躍を祈念し挨拶いたします。

C O N T E N T S

◆ 山形県看護連盟 伊藤加代子会長あいさつ … 1	◆ 日本看護連盟通常総会 …… 5
◆ 平成29年度山形県看護連盟通常総会 … 2	◆ 青年部合同会議 …… 5
◆ 平成29年度第1回合同研修会 …… 2	◆ 石田議員と青年部意見交換会 …… 5
◆ 新役員紹介 退任役員 …… 2	◆ 第4回北海道、東北ブロック ポリナビワークショップin山形 … 6、7
◆ 平成29年度山形県看護連盟活動計画 … 3	◆ 今後の予定 会員募集 編集後記 … 8
◆ 平成28年度収支決算書 …… 4	◆ コマーシャル …… 8
◆ 平成29年度収支予算書 …… 4	

平成29年度山形県看護連盟通常総会

開催日：平成29年5月27日（土）

場 所：山形県看護協会会館 参加者102名



山形県看護連盟通常総会に参加して

三友堂病院支部 三友堂リハビリテーションセンター 鈴木 清 美

平成29年5月27日、看護連盟通常総会に参加しました。総会では、平成28年度活動報告、決算並びに監査報告、平成29年度活動計画案・予算案の審議が行われ、賛成多数で可決されました。伊藤会長さんより「組織拡大の強化」という看護連盟の目標に向け、山形県看護問題対策議員連盟の設立を目指されているとお聞きました。看護連の設立は、「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンに近づく大きな一歩であると思います。その一歩に近づくためには、何といたっても看護連盟の会員数の増加というのは、とても重要なことであると考えます。

午後からの合同研修会で大島先生の講演をお聞きし、看護政策の実現には、政策に強い組織力が必要であること、看護政策実現は、患者様中心の医療の実現に繋がることを学びました。今年度より、看護連盟青年部の一員として活動することになりました。連盟の輪を広げられるように頑張ります。

平成29年度第1回合同研修会

開催日：平成29年5月27日（土）

場 所：山形県看護協会会館 参加者152名

講 師：大島 敏子 氏 看護が社会を動かす



合同研修会に参加して

庄内支部 日本海総合病院 五十嵐 幹

正直なところ、若い時には政治というと自分にはあまり関係ないと感じていた。学ぶ機会も関心もないまま、日々の生活に追われていたように思う。子育てしながら家庭と仕事の両立に悩み、年齢と共に感じる疲労感が身にしみる頃になって、働く環境や看護師の待遇など改善していくには一人一人が意識を高く参政していかなければならないと実感している。今回の研修に参加して、「少子・高齢・多死社会」到来により医療環境や看護を取り巻く環境の変化を知った。その変化に対応していくためにも制度改革が必要である。何のために税金が使用されているかなど、正しい情報を得て政策決定過程に関わる事が必要だと学ぶことができた。これからも、正しい情報を伝え、看護連盟活動に関心をもってもらえるように活動していきたい。自分たち看護職から代表を国政に送り出し一緒に改革を推し進めるために微力ながら頑張ろうと決意を新たにしました。

◆新役員紹介

副会長 大竹 久子



副会長を拝命し、7月より任に就いております。

7月の三役会議、役員会を経て、8月上旬、施設訪問をさせていただきました。

看護連盟は、看護協会が掲げる政策を実現するための看護職能団体であり、現場で働く看護職の働き甲斐、生き甲斐に繋がるよう活動しています。現場の意見にしっかり耳を傾けること、活動の見える化を心掛けていきたいと考えています。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



幹事 後藤 一子

看護連盟を理解し、役員として協力できるよう努めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



監事 山口 節子

この度、監事を務めさせて頂くことになりました。看護連盟の事業運営が適正に行われているか検査するという、大変重責な役割と受けとめております。微力ではございますが、精一杯頑張っておりますので宜しくお願いいたします。

旧役員ありがとうございました。

幹事 渡 辺 美津子

幹事 田 中 峰 子

監事 南 美 千 子

平成29年度山形県看護連盟活動計画

日本看護連盟 重点目標

- ①力強い組織
②成熟・自立した行動

山形県看護連盟 重点目標

- ①組織の拡大と強化・ブロックポリ
ナビの成功
②看護職の政治意識を高める
③自立した支部活動を目指す

	目 標	活 動	手 段
組織の拡大と強化・ブロックポリナビの成功	1 会員数の増加	1) 平成29年度の目標会員数1200人 2) 未加入者・退職者の入会継続 3) 学生会員の確保	1) 2) ①施設訪問（入会施設・未加入施設） ②「OB会」の創設 3) -①看護学校訪問により看護政策の実現の重要性や情報提供をする ②看護教員へ入会の働きかけ
	2 ブロック活動の強化（北海道・東北）	1) ブロック内の連携強化	1) -①情報の共有と協働 ②看護教育者及び看護管理者等セミナーへ参加する ③北海道・東北ポリナビ山形開催及び参加
	3 看護連盟活動への理解を得る	1) 組織強化や一般会員研修に関する研修 2) 会員・非会員に対する広報活動	1) -①合同研修会 第1回 5/27 第2回 9/30 第3回 H30/3/3 ②看護実践研修 7月中間管理者研修 9月排泄ケア研修 11月リフレッシュ研修（仮） ③支部長研修・施設連絡員研修会（10/7） 管理者研修会 2) -①「紅の花」の発行（2回/年） ②ホームページを随時更新（偶数月） ③連盟紹介ビデオ・DVD・ハンドブック等、グッズを積極的に活用する ④県連盟作成のパワーポイントによる研修会の実施
	4 組織運営の強化	1) 役員、委員会等の目的・業務の明確化と組織運営の適正化 2) 青年部会員の育成・規約作成 3) 本部・ブロック・他団体・組織との連携・協働	1) -①役員の役割等の明文化をおこなう 2) -①ブロックポリナビ開催の企画・運営・実施 ②研修委員との協働で研修の企画運営 ③年間活動計画を立案実施 ④規約を明文化する 3) -①総会（本部・県） ②役員会 ③支部長・役員合同会議 ④全国会長会 ⑤北海道・東北ブロック会長会 ⑥県別会議（10/7）
活動を目指した支部	1 支部活動の充実	1) 支部役員の育成 1) 支部活動の明確化	1) -①支部役員の役割を明文化する ②県役員（支部担当）と各支部長との連携 ③支部長研修・施設連絡員研修を開催する 2) -①各支部年間活動計画予定を作成する ②支部毎・施設毎の組織図を作成する
看護職の政治意識を高める	1 看護職国会議員との連携	1) 第25回参議院選挙に向けての活動 2) 「現場の声」の集約 3) 議員の活動状況	1) -①候補予定者の来県、施設訪問、セミナー等により知名度アップを図る 2) -①看護管理者研修会に国会議員を講師とし現場の声を届ける ②研修会毎に現場の声を集めまとめる 3) -①国政報告会の開催と参加 ②ホームページ、アンフィニを活用し情報提供する
	2 看護を理解する地方議員の確保と支援	1) 看護問題対策議員連盟の設立 2) 地域の国会議員・地方議員との連携強化	1) -①看護職に理解ある議員へ資料準備し働きかける 2) -①立候補者の支援をする ②セミナー等へ参加する
会員への福祉の充実	1 事務局の運営を適正に行う	1) 会員登録を適正に管理 2) 財政の適正な管理 3) 職員の適正な管理	1) -①随時入会会員の登録と年度初め入会会員の登録をおこなう 2) -①年2回の定例監査の実施する 3) -①年度初め更新手続きをおこなう
	2 慶弔への対応	1) 規約に基づき対応する	1) -①活動同様
	3 諸問題への対応	1) 専門家と相談の上速やかに対応する 2) 会員の安全対策	1) -①活動同様 2) -①選挙違反防止の学習

平成28年度 収支決算

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	摘 要
1. 会 費	3,050,000	3,067,000	17,000	
1) 正会員会費	3,000,000	3,039,000	39,000	3,000円×1013名
2) 賛助会員会費	50,000	28,000	△ 22,000	1,000円×24名、4,000×1名
2. 交付金	8,380,000	9,862,430	1,482,430	
3. その他の収入	1,000	1,343,480	1,342,480	預金利子、助成金返金、研修会会費
4. 繰越金	5,508,470	5,508,470	0	
収 入 合 計	16,939,470	19,781,380	2,841,910	

【支出の部】

△減

科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 残 額	摘 要
1. 経常経費	6,400,000	5,808,485	591,515	
1) 人件費	4,000,000	3,596,362	403,638	会長・事務職員給与、健保厚生事業所負担分
2) 光熱水費	250,000	185,846	64,154	電気、上下水道、ガス
3) 備品・消耗品費	350,000	290,494	59,506	備品、事務用品、コピー料
4) 事務所費	1,800,000	1,735,783	64,217	
Ⅰ. 賃貸料	780,000	780,000	0	事務所賃貸料
Ⅱ. その他	1,020,000	955,783	64,217	電話、通信、リース料、他
2. 活動費	10,539,470	8,601,516	1,937,954	
1) 組織活動費	7,050,000	6,951,367	98,633	
(1) 大 会 費	1,550,000	1,279,269	270,731	本部通常総会、県連盟通常総会
(2) 組織対策費	5,400,000	5,599,869	△ 199,869	活動費、会議費、支部助成金等
(3) 渉 外 費	100,000	72,229	27,771	渉外活動費、慶弔費
2) 事業費	3,489,470	1,650,149	1,839,321	
(1) 教育・研修費	1,650,000	1,188,245	461,755	研修会他
(2) 機関誌の発行	650,000	429,504	220,496	県連盟だより（紅の花）×2回発行
(3) 広報活動	150,000	32,400	117,600	
(4) 予 備 費	1,039,470	0	1,039,470	
支 出 合 計	16,939,470	14,410,001	2,529,469	

(収入合計) (支出合計)

19,781,380 - 14,410,001 = 5,371,379

平成29年度 収支予算

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	比 較 増 減	摘 要
1. 会 費	3,050,000	3,025,000	△ 25,000	
1) 正会員会費	3,000,000	3,000,000	0	3,000円×1,000名
2) 賛助会員会費	50,000	25,000	△ 25,000	1,000円×25名
2. 交付金	8,380,000	7,920,000	△ 460,000	
3. その他の収入	1,000	1,000	0	預金利子・その他
4. 繰越金	5,508,470	5,371,379	△ 137,091	
収 入 合 計	16,939,470	16,317,379	△ 622,091	

【支出の部】

科 目	前年度予算額	本年度予算額	比 較 増 減	摘 要
1. 経常経費	6,400,000	6,830,000	430,000	
1) 人件費	4,000,000	4,400,000	400,000	会長・幹事長・事務職員給与他
2) 光熱水費	250,000	230,000	△ 20,000	電気・ガス・上下水道
3) 備品・消耗品費	350,000	350,000	0	コピー料、事務用品、その他雑費
4) 事務所費	1,800,000	1,850,000	50,000	
Ⅰ. 事務所賃貸料	780,000	780,000	0	事務所賃貸料 (65,000×12)
Ⅱ. その他	1,020,000	1,070,000	50,000	通信費・電話・リース料
2. 活動費	10,539,470	9,487,379	△ 1,052,091	
1) 組織活動費	7,050,000	6,600,000	△ 450,000	
(1) 大 会 費	1,550,000	1,200,000	△ 350,000	本部通常総会・県連盟総会
(2) 組織対策費	5,400,000	5,300,000	△ 100,000	会長会・役員会・支部助成金・他活動費
(3) 渉 外 費	100,000	100,000	0	渉外活動費・慶弔費
2) 事業費	3,489,470	2,887,379	△ 602,091	
(1) 教育・研修費	1,650,000	1,400,000	△ 250,000	研修会他
(2) 機関誌の発行	650,000	450,000	△ 200,000	県連盟だより (2回発行/年)
(3) 広報活動	150,000	200,000	50,000	
(4) 予 備 費	1,039,470	837,379	△ 202,091	
支 出 合 計	16,939,470	16,317,379	△ 622,091	

(収入合計) (支出合計) (差引残額)

16,317,379 - 16,317,379 = 0

日本看護連盟通常総会・看護連盟青年部合同会議

開催日:平成29年6月15日(木) 場 所:東京プリンスホテル 出席数:20名(会長、代議員、支部長)



日本看護連盟通常総会に参加して

篠田総合病院支部 山形県看護連盟 篠田総合病院 齋 藤 勝

天候にも恵まれ、晴天の中、初めての日本看護連盟通常総会に出席してきました。

通常総会の前に、初の開催で各都道府県の看護連盟青年部の合同会議があり、200人を超える青年部委員が集まり、活動についての悩み・意見を交換しました。活発に活動している県や支部があれば、まだ発足しただけの所もあり、様々な意見を聞くことができ、今後の自分達がどのように活動していけばいいの参考になりました。

通常総会では、過去の先輩たちから受け継がれてきた活動を更なる飛躍の年にするために今年の活動内容を皆さんと共有する総会となりました。国政報告会では、たかがい議員、木村議員、あべ議員、石田議員から力強いメッセージを頂きました。私たちのベッドサイドからの声が反映され、政策を国会で成立させるために奮闘していただきました。これからも私たちの声を届けて、応援していきたいと思いました。長いようで短い中身の濃い1日でした。



石田議員と青年部意見交換会

平成29年9月1日(金)

山形県看護連盟事務所において青年部委員会が開催され、その中で石田議員と青年部の意見交換会が行われました。また現場の声も届ける事ができました。



第4回北海道・東北ブロックポリナビワークショップin山形 開催!!

開催日：平成29年7月7日（金）

場 所：ホテルメトロポリタン山形

テーマ「ひとりのハートが世界を変えられる」 講 師：Gratitude代表、

一般社団法人 山形バリアフリー観光ツアーセンター代表理事 加藤 健一氏

第4回北海道・東北ブロックポリナビワークショップIN山形を終えて

舟山病院支部 山形県看護連盟青年部委員長 伊 藤 雄 大



平成29年7月7日、ホテルメトロポリタン山形にて第4回北海道・東北ブロックポリナビワークショップIN山形が140名の参加を頂き盛大に開催されました。

講師は山形県南陽市のGratitude代表・山形バリアフリー観光ツアーセンター代表理事の加藤健一様を迎えました。

加藤健一様は「ひとりのハートが世界を変えられる」というテーマの講演で、“夢を叶えたい”“障害をもっていても夢や希望を諦めない、挑戦すること”と何度も言葉にして私たちに伝えてくれました。そして今回のポリナビワークショップのテーマ「叶 ～動く心・変わる意志～」は、誰もが辛い出来事や困難を感じた時、また医療従事者としての苦悩や迷い、様々な葛藤と向き合うことが、夢や目標に向かう努力への一歩だと。そんな思いを込めた内容でありました。

更に、参議院議員 石田昌宏様よりポリナビのご講評をいただくなど、大変貴重な時間を過ごすことができました。

講演後のアンケートでは、「人生において何をすべきかを考えさせられた」「看護連盟がなぜ必要か理解できた」などの感想を頂きました。目標に向かって少しずつ前進し、人と人との繋がりや出会いを大切にしていこうと改めて学ぶことができました。

ポリナビ開催にあたり、北海道・東北ブロック各県のファシリテーターの皆様からのアドバイス、お力添えを頂き開催できました。ありがとうございました。

プロフィール

Gratitude (グラッティテュード) 代表
一般社団法人 山形バリアフリー
観光ツアーセンター 代表理事

加 藤 健 一 (かとう けんいち)



KATO KENICHI PROFILE

1980年南陽市生まれ。自動車が大好きな少年、青年時代を過ごし、長井工業高校卒業後、自動車会社の社長になるという夢を追いかけ、自動車整備・板金塗装業へ就職する。夢半ば21歳で体に異変が現れ、難病の筋ジストロフィーの診断を受け、長期の治療を余儀なくされ医師からは仕事に復帰することは困難と宣告される。入院から半年後には、病気の進行と薬の副作用により歩くことができない状態となった。しかし、夢を諦めることができず、退院後1年にも及ぶりハビリに懸命に取り組み、少し歩行が可能な状態まで回復。23歳の時、医師に不可能と宣告されていた仕事に1年間復帰するも、病気の進行により続けることが困難となり退職。25歳で市内の三陽製作所に就職、厨房設備の設計業務にあたり、会社で唯一最新鋭の3D CADの技術を独学で取得。この頃病気の進行により29歳で外出時のみ車イスの利用となる。30歳で在宅勤務、32歳に自力歩行が困難になり、フル車椅子生活へ。

2014年33歳、これまでの自身の経験を社会のために活かすべく一念発起し、有志メンバーを募りGratitude結成。「ひとりのハートが世界を変えられる。」を理念に掲げ、誰もが住みよい社会を目指し、障がい者等用駐車場の塗装作業「ブルーペイント大作戦」やバリアフリー交流会、研修会等を通してバリアフリーの理解促進を図り、障がい者の外出促進と健常者・障がい者間のコミュニケーションの活性化を目指し活動中。2015年34歳、県内初のパラグライダータンデムフライトに挑戦、見事成功を果たす。2016年3月車椅子によるパラグライダークロスカントリーフライトにて、飛行距離日本記録樹立に向けて挑戦中。

2016年4月、山形県内初の山形バリアフリー観光ツアーセンターを設立。バリアを魅力に変えるという新しい発想で、山形の魅力を全世界に発信し、誰もが住みよい街づくりとおもてなし観光日本一を目指す。



山形県議会議員 大内りか



北海道・東北ブロック協議会会長
宮城県看護連盟会長 富田きよ子



山形県看護連盟会長 伊藤加代子

グループワーク



理想の未来を叶えるためにあつく語ろう



「職場」「地域」についてトーク



熱い思いを発表

* 四方山会のおどり *

難しい
笠まわし活気あるおどりを披露してくれた
四方山会の皆様

* 青年部の仲間たちと *



参加者の感想

- ♥ 障害を持った方の苦悩や苦しみを知り、こちらから、日本・地域がどうあるべきか考えさせられとても勉強になる講演だった。
- ♥ バリアフリーとは何か、この度の講演で漠然としていたことが現実的、具体的に考えることができた。
- ♥ 地域で暮らす人々が、疾病や障害を抱えながらも安全、安心に暮らしていける地域づくりについて、みつめなおすことができた。
- ♥ 夢をもつこと、チャレンジすることの大切さを学ぶことができた。
- ♥ 日々の業務等に看護政策、政治が関わっていると実感した。

* 山形県青年部委員 *



若い力をあわせて、がんばりました

青年部委員メンバー

委員長	舟山病院	伊藤 雄大
副委員長	三友堂リハビリテーションセンター	小関 大樹
副委員長	東北中央病院	高橋 慶恵
副委員長	篠田総合病院	齋藤 勝
幹事	舟山病院	佐藤 剛康
委員	東北中央病院	菊池 由惟
委員	東北中央病院	五十嵐 香波
委員	東北中央病院	齋藤 菜絵
委員	篠田総合病院	加藤 雅人
委員	三友堂病院	佐藤 圭汰
委員	三友堂病院	長沼 和樹
委員	三友堂病院	中川 賢治
委員	三友堂リハビリテーションセンター	鈴木 清美
委員	国療米沢病院	安房 孝信

今後の予定

- ◆平成29年11月6日(月)〈パレスグランデール〉
個人会員・賛助会員研修
- ◆平成30年3月3日(土)〈山形県看護協会会館〉
平成29年度
第3回山形県看護協会・看護連盟合同研修会
- ◆平成30年3月4日(日)〈ビッグウイング山形〉
平成29年度会員研修
※平成30年診療報酬・介護報酬同時改定につ
いて



議員コーナー

石田まさひろ参議院議員

6月15日に開催された日本看護連盟総会で、組織内候補予定者に選任されました。

看護の現場をよくすることは、看護職の皆さんが「今日もいい看護ができた!」と実感できることです。実現のための3つの誓いをのべます。

①職場環境の改善

給与、勤務体制、休暇、子育てや介護支援などのさらなる改善に向け、各地域の実情を知るために、全国津々浦々を訪問し皆様のご意見を拝聴して回ります。それを国政の場で発言し政策に反映させます。

②看護職の自立

全ての看護職が自立した看護を実践できるように基礎教育と卒後教育を連続的に充実させます。また、人工知能やセンサーなど新しい技術を看護に取り入れます。さらに重要なのは、保健師助産師看護師法の「指示の下」からの脱却です。

③社会的評価の底上げ

看護職という職業自体に敬意は払われていますが、加えて、看護職が社会に与える影響力や技術の優秀さに対して「さすがだ!」と言われる社会にします。その為に国会議員の発信力をもって「看護の価値」を社会に訴えて参ります。

会員募集中!

1ヶ月667円で 私達のくらしが良くなる
仕事が楽しくなる

看護職は、生涯現役のお仕事です。連盟会員の継続をお願いします。
第2第3の職場でも連盟会員でいてください。

現在会員数 1,002名
現在賛助会員 23名

正会員：会費 8,000円

賛助会員：会費 1,000円

学生会員：無料

連絡先 山形県看護連盟事務局 TEL. 023-633-8153
〒990-0023 山形市松波4丁目-1-39 E-mail: kango_ya@bz03.plala.or.jp

編集 後記

平成29年度日本看護連盟北海道・東北ブロックポリナビワークショップが山形で初めて開催されました。総勢140名の参加があり、大変盛り上がりしました。

職場や地域について改めて考える機会となり、山形の若い看護師の現場の声が政治の場へつながればと思い今回の40号の中心に据えました。

羽毛ベスト



Grand Feather

グランドフェザー

TEL 0258-33-3208